

最上 大豆だより

第3号 病虫害防除編
令和8年8月26日
最上総合支庁 農業技術普及課
☎0233-29-1330（作物担当）

適期防除と残草対策を徹底し、良質大豆生産を目指しましょう！

◎病虫害防除

- ・最上地域の開花盛期は**8月3日**（平年＋3日）となりました。以下の病害は外観品質や等級に大きく影響を与えるため特に注意が必要です。遅れずに防除を実施しましょう。

紫斑病

- 子実の表面が紫色に着色し、外観品質を大きく低下させます。
- 開花期～子実肥大初期に感染し、特に**開花12日～40日後が感染適期**となります。また、気温25℃以上で多湿条件だと感染が助長されます。

対策

- 開花期25日～35日後（8月下旬～9月上旬）に防除**を行いましょう。散布の際に葉で薬液が莢までかからない場合があります。**莢まで付着するよう丁寧な散布**を心掛けましょう。
- 罹病した茎や莢、子実は翌年の感染源になるため、多発圃場での連作は避けましょう。



着色粒は「被害粒」として扱われ**1%以上**含まれると落等する。

マメシンクイガ

- 子実を食害し、収量・品質への影響や青立ちの原因になります。
- 8月下旬～9月中旬が産卵の最盛期**となり、卵は6日～10日でふ化して、幼虫は主に子実の縫合部に沿って食害します。

対策

- 8月25日頃とその10日後の計2回**の防除を行いましょう。紫斑病の防除と同様に**莢まで付着するよう丁寧な散布**を心掛けましょう。
- 例年多発する圃場や前年多発した圃場は特に注意しましょう。

成虫



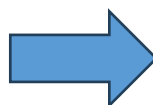
食害跡



◎残草対策



残存雑草が多いと
①子実肥大を阻害
②収穫時の障害
③汚損粒が発生



- 結実前に抜き取り
→来年の多発生防止
- 薬剤で除草
→大豆本葉に飛散しないように注意！

気を付けよう！ 農作業事故 熱中症 農薬適正使用